

○第9回長門市部活動改革推進協議会 会議録（概要版）

日時：令和6年10月21日（月）午後6時30分～午後7時50分

場所：長門市役所4階会議室

出席者：協議会委員15名、オブザーバー1名、事務局11名

■事務局

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので第9回協議会を始めます。委員の皆様には前回お伝えした開催日から変更となりましたこと、お詫び申し上げたいと思います。開会にあたり、会長からご挨拶申し上げます。

■会長

皆さんこんばんは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。第9回協議会ということですが、前回開催以降も事務局、教育委員会、各中学校等と協議をさせていただいたり、教職員の皆様に意向調査をしたり、生徒、児童の皆さんにも希望の確認をしたり、様々な協議を継続してきたところです。それにより、従来の素案から多くの変更点が生じています。

その部分について、今回確認していただきたいと思ひますし、市営クラブの名称、それからチーム編成、種目変更、また会費について、本日皆さんから意向をお聞きする機会になります。どうぞ慎重なご審議をよろしくお願ひします。

■事務局

ありがとうございました。これからの議事進行につきましては、伊藤会長にお渡ししたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

■会長

議事に入ります。早速、議題1「一部実証事業」について事務局から説明をお願いします。

■事務局

それでは説明します。菱海卓球クラブについて、この9月から実証事業を開始しています。これまで延べ6回開催し、2～3名の参加がある日と、残念ながら参加者0という日とあります。今無料体験会という形で開催し、いずれも他の部活動に所属している現2年生の生徒が参加しています。指導者は、卓球協会から14名の名前をリストアップし、その中から毎回2、3名を派遣しているという状況です。様子としては、生徒も喜んで卓球に取り組んでおり、初心者ではありますが、みるみると成長していったすごいなと思ひています。

当初、9月までの無料体験会ということで計画していましたが、参加者が少ないというこ

ともあり、今10月末まで延長したいと思っています。ただ更なる延長も必要かなということも思っています。また、参加対象を菱海中に限らず、近隣校である日置中まで広げてもいいかなということで今後検討したいと考えているところです。

それからもう1点、三隅レククラブについて、6月以降活動を続けておられます。学校運営協議会を主体に、月に1回か2回程度活動され、イラストクラブに2人、バンドの方に6人の参加ということを知っています。成果発表として、今週末土曜日の学校文化祭において、油絵の展示、ギター演奏をされるということで、大変楽しみにしています。以上です。

■会長

菱海卓球クラブについて、実際に指導されている委員の方にもお聞きしたいと思います。

■委員

はい、私も実際に参加しました。事務局から説明があったように他の部活動をしながら参加した子たちは初心者でしたが、こちらも指導者としては初心者で、お互いにクラブ活動を楽しんだ様子です。参加して面白かった、楽しかったと思います。

■会長

三隅レククラブはいかがでしょうか。

■委員

今週の土曜日に向けて、10月は3回活動しました。明後日が最終練習でして、地域の方々には機材の設定など事前準備にも協力をいただいています。

■会長

ありがとうございます。一部実証事業の現状についてでしたが、委員の皆様から聞いてみたいことやご意見等がありますでしょうか。

⇒意見等なし

では議題2に移ります。「市営地域クラブ名称」について事務局から説明をお願いします。

■事務局

市営地域クラブの名称について、これまで素案に「仮称Nクラ」と提示してきました。長門スポーツカルチャークラブ=Nクラということで、部活動というものが変わっていくというイメージ付けで、今まで使用してきて、今広く浸透してきたと感じています。そのため、市営地域クラブの総称として「Nクラ」を正式に採用したいと思います。Nクラは、チームの総称であり、各チームの名称は競技種目ごとにつけます。例を示すと、軟式野球チームであれば名前を長門ベースボールクラブとか、バレーボールチームが2つあるとすれば、長門

バレーボールクラブ、もう1つは長門西クラブなどです。カタカナで何とか長門でもいいと思いますし、吹奏楽であれば長門ウインドアンサンブルとか、それぞれのチームで名称をつけ、各競技団体で関係連盟に登録することになります。繰り返しになりますが、Nクラは、あくまでもそれらの集合体であり、市が運営する地域クラブの総称に使用したいと思っています。今まで仮称であったので、これを正式に採用することについて、委員の皆様にお諮りできればと思います。

■会長

市営地域クラブの集合体として仮称Nクラを使用してきましたが、各種目についてはそれぞれ名前をつけていくということになります。市営地域クラブの集合体をNクラと呼ぶことにご意見、質問等何かありますか。

では、委員の皆様にお諮りします。市営地域クラブの名称について、これまで仮称としていた長門スポーツカルチャークラブ＝通称Nクラを正式に採用ということに賛成の方、挙手をお願いします。

⇒全委員挙手

ありがとうございます。Nクラを正式採用ということによろしいですね。

では、続いて議題3に移ります。議題3「中学校の教職員向け意向調査の結果」について事務局からお願いします。

■事務局

説明します。中学校教職員向けの意向調査を9月8日から20日の間で実施しました。この意向調査の前には各中学校を回り、Nクラに関する説明、質問などを受け付け、意見交換なども行いました。さらに教員研究大会の場でも説明した後、本調査を行っています。

市内中学校の全教職員、事務職員、また臨採の教員も調査対象としてWeb回答方式で、回答率は90.3%、Nクラへの参加を考えている方は93名中11名でした。

参加を考えている方で、参加したい頻度を聞いたところ、平日のみ全てが2名、平日休日とも全てが7名、平日のみ週1程度が1名、平日休日あわせて週1程度が1名でした。

また参加したい種目は、複数回答を可としていましたので、重複がありますが、1人が3つ回答というものもありました。

参加したときの役割については、中心的な役割として参加したいという回答が4名、その他のコーチ、サポートコーチがそれぞれ3名と4名という結果でした。

以前の調査結果では、3割程度の教員が部活の地域移行に参加でしたが、今回は11.8%という結果でした。人事異動の影響もありますので、4月以降にもう一度確認をする必要があるのかなと思います。現状はこのような結果となりました。

また、各教員から多くの意見をいただきました。多かった意見としては、部活動の地域移行を積極的に進めほしいという意見です。長門市は県内でも動きが早いことから、これが進むことによって授業の準備が進めやすくなるという意見もあれば、自分が参加することにあたっての心配事、移行後の大会運営や生徒指導の安全性などの意見もありました。いただいた意見を参考にしながら、取り組みを加速させたいと考えています。

移行後も中心でやっていきたいという教員の方には、今の活動を大事にしていくことを確認しながら、その後も軸となっていただけると生徒も安心できるかと思しますので、今後はその先生方とも直接お話ができればと思っています。

■会長

あくまでも教員の参加を前提としたものではありませんが、当初の意向調査では3割程度が関わってもいいかなということでした。不思議なもので、この3割というのは、どこの市町も同様の調査をしたときには3割程度だったと記憶しております。今回出た数字は、本格実証を目の前にしてかなり絞り込んだものであるため、これを多いとか少ないとかいうことはできないのかと思います。また、繰り返しになりますが、教員の参加を前提としたものではないということ再認識していただきたいと思います。記述式のところには肯定的な意見、否定的なものや不安だという意見もあり、それらを肝に銘じてやっていきたいと思っています。この結果について、何かご意見、ご質問等ございませんか。

■委員

コーチ以外で先生方は関われるのでしょうか。コーチじゃなくても関わる形はあるのでしょうか。完全にコーチをするか、しないかの線引きになるのでしょうか。

■事務局

Nクラへの関わりはコーチとして入るといった形が基本になります。ただ移行期には、教員として引き継ぐこともあるかと思し、令和7年度の中体連主催大会では、運営のご協力をいただくことがあるかと思します。

■委員

コーチという表現をしているけれど、文化部もあるわけで、スタッフという言い方もいいかもしれないですね。

■会長

その他よろしいですか。

それでは議題4「種目、チーム等の編成」について、事務局からお願いします。

■事務局

議題4「種目、チーム編成(変更案)」についてです。令和5年10月に素案で提示した種目・チーム編成について、これまで各中学校の顧問、各競技団体の関係者と協議を行ってきました。軟式野球とバレーボールについては、対象者に意向調査を9月に行ったりもしました。結果として、現在深川中学校で展開をされている部活動の10種目、これをNクラで引き継ぎ実施しますが、チーム編成については、素案からの変更案を提示させていただきます。

まず、軟式野球について、令和5年の素案では3チーム、中央、東、西という構想で提示をしました。変更案としては1チーム、会場は深川中学校ということを考えています。意向調査の結果から、令和7年8月も軟式野球を続けると答えた人数が15名となりました。無回答もありますが、回答人数をもとにすると、素案で示した3チームだと、どのチームも成立しません。また、軟式野球を辞めるとした人数が9人にのぼりました。こうした結果から、これまで協議を続けてきた関係者も「これは1チームがよいだろう」ということでした。令和8年4月は人数が多い可能性もありますが、大体20人前後になるのかなという予測です。意向調査の自由意見には、1チームの構成でいいのではという意見もあったというところで、軟式野球に関しては3チームから1チームに変更したいと考えています。

続きましてバレーボール女子です。こちらも同じように、中1から小5まで意向調査を行いました。素案では、3チーム東、中央、西で提示をしていましたが、変更案では2チーム編成を提示します。会場は、深川中と菱海中です。西クラブは菱海と日置、中央クラブは深川、三隅、仙崎を1つにして計2チーム編成にする案です。令和7年8月の予測で、バレーボール続ける子どもが計18人いまして、西クラブは8人、中央も3校足して10人続けるという意向がありましたので、活動が継続できることから市内2チーム編成がいいと考え提示させていただきます。ただ菱海中に進学する6人が抜けたあと、今の小学校5年生でスポ少に所属する子どもが市内全体で4人ですので、令和8年のどこかでは、西クラブと中央が1つになっていく可能性があるかと思えます。スタート時点の構想としては、今回バレーボールについては2チームということで提示をさせていただきます。これも自由意見を聞いていますが、素案のチーム編成は厳しいのではないかという意見がありました。

続いて、バスケットボール男子です。素案に提示したとおり、深川に1チームということです。非常に人気があり、人数が集中する可能性があるという予測もありますが、指導者の確保状況等を踏まえ、今のところは1チームで進めていきたいと思っています。

次に吹奏楽です。素案は2バンドということで、三隅と仙崎の合同で計画していました。変更案として、中央の1つにしていくということで提示します。これが指導者の確保、希望する方がいれば、その方を中心に広げていきたいですが、2か所を中心に展開していただけない状況です。また、吹奏楽の移行時期は現時点で12月を予定していて、他のスポーツとは移行時期をずらすことを考えています。理由としては、これまで部活動として秋の文化祭や地区のお祭りにも参加し、成果発表をされてきた点です。各顧問の先生とも確認し、スポーツとは移行時期をずらすようになりました。最後に吹奏楽の活動は校舎内で行い

ますので、パート練習などもできるようその部分について、学校とも詰めていければと思います。

ソフトテニスについても変更があります。素案としては2チームとしていましたが、1チームということで、男子が深川中学校、女子に関しては練習会場を深川と仙崎、ただし登録としては1チームという形でいきたいと考えています。卓球と同様ですが、日本スポーツ協会の公認資格がないと中体連に登録ができません。この資格取得は非常にハードルが高く、全65時間以上の研修、実技試験を受けて資格取得できるものであり、今回それぞれ取得に動かれている方がいますが、同じ仲間で励まし合いながら受講されているので、それが別のチームになると、敵対して戦うこととなります。人数的には多くなりますけれども、男女で長門市はそれぞれ1チームという形にしたいと思います。また、ソフトテニスも、新しく長門STCというクラブチームが立ち上がり、地区予選があるとすれば、そこ対戦という形になります。スタート時点、人数がかなり膨れる可能性があります。男子に関しては深川に1年生が3人、仙崎には1年生がいません。来年以降どうなるのか分かりませんが、深川中の方に集まった形でスタートできればと思います。

卓球は素案からの変更はありません。各学校で練習会場をつくるが、チームは全体で1チームです。関係者とも継続した協議を行っていきませんが、今のところは1チームとして活動していこうと考えています。

陸上競技も素案のとおりです。また、今年度から新たなクラブチームもできています。

続いて剣道です。素案どおり1チームで考えています。ただ、平日の活動は剣道連盟と協議をして、それぞれの地域のスポ少の活動に参加し、土曜日(休日)は中央1か所に集まってNクラとして活動したいと思っています。平日は剣道連盟にお預けする形になりますが、休日はNクラで活動し、大会参加についてもNクラとして行うというものです。会場は深川中または武道館がいいのかと思いますが、防具の持ち運び等もありますので、武道館の方がいいのではと協議を進めています。未決定ですが、剣道は特殊な形を想定しています。

次に柔道男女について、素案のとおり、1チームで活動します。現在、深川中学校柔道部と長門柔道スポ少が中体連に登録していますが、色々と調整を図り、Nクラのみで活動することとなりました。

最後美術ですが、素案のとおり深川中学校で活動したいと思っています。これまで平日のみの活動だったと聞いていますが、移行後は土曜日も活動していくことを考えています。

また、レククラブについては、検討中ということで下に入れていきます。こういった形で開催、運営になるのか検討していきたいと思いますが、我々の考えでは、Nクラの中のレククラブではなく、別になっていくことをイメージしているところです。

大変長くなりましたが、説明は以上です。

■会長

今色々説明がありましたが、当初の素案から大幅に変更していくということです。

たくさん説明がありましたので、聞き逃した、これはどうなのかというのがありましたら、質問を受けたいと思います。いかがでしょうか。

■委員

ソフトテニスについて、女子は会場が2つで、Nクラが1チームとなれば、ソフトテニスはペアで競技するため、ペアが仙崎だけで組みなさいとなるのか、Nクラとして組むのか。

同時に1チームとなったことを想定して、練習会場については柔軟的な対応などが必要と思われる。

あわせて卓球も同様の考え方でいくと、チームとして1チーム。個人はいいと思いますが、団体は8人、試合に出られるのが男性、女性含めて6人。これも同じように1チームでやるのであれば、一緒にやらないと色んなことを考える上で、難しいという場面がおこるのではないかと思います。

■事務局

まずソフトテニスですが、我々も同様の事を心配してしまして、例えば土曜日に、自主移動になりますが、合同練習を行うとか、また代表決定戦、クラブ内大会をやらないといけないと思っています。

卓球も同じように、かなり大規模になりますが、同じ事を行う必要があると思います。そうした中で、地区予選ではないですが、クラブ内大会が代表決定戦のようになっていくのかなと考えています。卓球に関しては、関係者と話す中で、個人戦をやってベスト8が団体代表になるかなと話があり、どういった形が良いか、また関係者としつかりと話したいと思います。ご指摘ありがとうございます。

■委員

困るのは人数が奇数になったときなんですよ。ペアが組めなくなってしまう、そうした場合、Nクラとしては解消できることが、仙崎中の子だけの仙崎会場だとできなくなるなど、そういったイレギュラーを想定しておかれるといいのかなと思います。

■会長

ありがとうございます。その他ございませんか。

この種目・チーム編成は、Nクラの根幹となる部分であり、今回が最終決定ではありません。あくまで競技団体等と調整を進めていく中で、今回の変更案をベースに調整を進めていくこととなります。この変更案に基づいて調整を進めるということについて採決を取ってもよいでしょうか。

■事務局

この変更案に基づいて、今後の予算編成や移動のバスの計画を立てていきますので、一旦

この案を提示させていただき、諸々の調整に今から入たいと思います。

■会長

調整だけでなく、当初予算も検討しないといけないということですが、よろしいでしょうか。よろしいという方、挙手をお願いします。

⇒全員挙手

ありがとうございました。この方向で調整していきたいと思います。

では議題5「会費」について事務局から説明をお願いします。

■事務局

「会費」について、これまで学校部活動は、教員の献身的な取り組み、学校予算の範囲内で運営されてきましたので、原則無償でした。ただ、今後はNクラの運営にあたり、新たな経費が発生します。指導者への謝金、移動の経費、用具類、また諸々の経費が見込まれ、参加者に受益者負担という形をお願いしなければならない。以上から会費の設定を行いたいと思っています。

国と県が策定したガイドラインには、地域クラブの会費は可能な限り、低廉な会費を設定することとされ、また、経済的に困窮する家庭への負担軽減に市町村取り組むこととされています。そういった点を踏まえ、令和5年の5月に実施した保護者アンケートにおいて最も回答が多かった、月額1,000円から2,000円の間、この範囲内で最終決定に向けた検討を行いたいと思います。また、経済的に困窮する家庭の要件として就学援助受給世帯を対象にした参加費の減免制度を設けたいと考えています。

保護者アンケートでは、1,000円～2,000円というのが35.9%で多く、次が2,000円～3,000円で23.1%、1,000円以下は21.6%、一番下に負担は考えられないが8.1%でした。

また、このアンケートでは、1週間の適当な活動回数を聞いています。最も多かったのが平日3日～4日の土日どちらか1日が33%ということでしたが、Nクラの活動日は平日2日、土曜日1日としています。そのため、この33%の希望には応えられていないということになります。この会費を最終決定していく中で、月額1,000円～2,000円が低廉な会費として妥当だと我々は考えています。これまで寄せられた会費等に関する意見では、学校間の移動に係る経費は市が負担してほしい。指導者の謝金などはある程度負担しなくてはならないけれど、高額になると参加できなくなるかもしれないため、軽減してほしい。選ぶ活動によって費用に差が出るのは選択を狭めることになるのではないかと。こういった意見がありました。また、市議会の一般質問にもNクラの会費設定は低くするべきだと意見がありました。

Nクラで想定される年間の経費は、指導者謝金として、1,300万円。移動経費は移動する人数で大きく変わりますが、用具類、その他費用、人件費などもありますので、全体で5,600

万円、これぐらいの経費が年間で必要かを見込んでいます。まだまだこれから精査しなくてはならない数字ですが、高額のコストがかかることは間違いありません。ただ、この経費の中には、個人に帰属する衣類等は、個人負担ということでこの経費には含んでおりません。参加者は、会費に加えて、道具とか服とかを個人負担となります。会費収入の概算として、仮に参加率を70%と仮定して算定すると、令和8年度は431人、参加者の会費が1,000円だとしたところ、年間で517万2,000円となります。ただ8月頃に3年生が抜けるということとを考慮すると、約413万7,000円となります。2,000円となればその倍、3,000円となればさらに倍になってきます。会費以外の収入としては、国、県からの補助などが見込まれ、令和7年度は、実証事業を行った自治体への委託金が予定されていますが、詳細はまだ示されていません。来年度のNクラススタートにマッチングした財源を確保したいと思っていますが、企業など団体、個人からの寄付金なども今後募っていく必要があると思っています。賄えない部分は市の一般財源を充当します。我々としては、低廉な会費設定の中でこの経費等から、当然1,000円から2,000円でも全然足りないですが、なるべく低くすることでしっかりと参加を促したいので、提示した範囲内で今後財政部局と交渉していきたいと考えています。

■会長

概算ではございますが、多額の費用がかかることはお分かりいただけたかと思います。会費は、学校部活動であれば、発生していなかった費用です。なるべく低廉な価格設定をということで、これまで要望を受けていましたし、我々もそのような方向性で行きたいという思いです。これも重要な部分ですので、一度皆様から意見を伺いたいと思います。今事務局から提案がありました、月額会費1,000円から2,000円の間ということについて、いかがでしょうか。

■委員

チーム編成をどんどん少なくしていつているのに、参加率7割というのは、しっかりこない、本当は70%なのか、下手したらもっと減るのではないかと。

■事務局

これを7割としたのは、今現在の部活動の参加率が75%程度だったためです。

今まで選べなかった種目が選べるようになるという点で、参加者が増える可能性もあるため、今後どうなるのか分かりません。

■委員

世間見ていたら日本のバドミントンの成績がすごく上がってきているし、希望者が増えるのではないかと思います。増やせというのではないが、将来そういうのをみて、やりたい子が増えるかなと。例えば卓球でも、男子、女子のレベルが上がってきて、世界で勝負する選手

が出てきているわけだから、子どもたちもやりたいってなるかなと。そうしたら、バドミントンとかの実施についても、事務局が片隅にだけでも置いておいてくれたらいいかなという意見です。入れろというわけではない。すごく人気が出てくるのかなと思う。当初のアンケートでは一番人気であったから。

■会長

今の70%という仮定がどうなるのかなということ。それから当初バドミンントンの希望が多かったというのをふまえて、バドミントンが入れば、もう少し加入が上がるのかなという意見。これについては、各種目クラブの状況も踏まえ、今後の検討課題であろうかなと思います。その他ございませんか。

■委員

補助の検討について、国とか県との協議はどれくらい進んでいるのですか。

■事務局

令和7年度は、今年度と同じように実証事業を行った自治体に対して、委託という形での国の補助金交付があります。国の来年度予算は、令和6年度から2倍以上の額を要求されていますが、要求段階なので、まだ決定していません。また、確定した額のうち、県にどれだけ配分され、長門市にくるのかも不明です。先日、東京で行われた国の会議に出席し、令和8年度以降の支援要望を行いました。どのような支援になるか詳細は不明ですが、我々のようにしっかり取り組んでいる自治体に対しては、しっかりバックアップしていかなければならないと文化庁の方がおっしゃってくださいました。

■委員

全体の運営費が5,600万円ある中で、会費が800万円くらい。補助等の財源がどうなるのか予想できないため、2,000円くらいの会費でも妥当だと思います。それ以上だと参加者はどんどん減るだろうし、安すぎると当然運営はできないと思うので、妥当な線だと思います。

指導者の謝金、移動経費は絶対必要ですよ。あと、用具類というのはどこまで見るのか。例えば、野球部だったら、グローブは個人で使うから自分で買うだろうが、ボールとかバットはどうするのかというところが気がかりなところですよ。

吹奏楽だと、楽器を個人持ちか、それともNクラで準備してなど、細かい部分の調整が必要になるのかなと思います。今は大雑把でいいですが、スタートするにあたって、運営ができる状態にしていけないといけないかなと思います。

■事務局

このような地域面積が広い中山間地域で部活動の地域移行した例は、全国でも事例が少ないので、おそらくこれがモデルとなって、補助事業であったり、国の交付税措置であったり、そういった仕組みづくりのデータとして参考になっていくんだろうと思います。

一般財源として4,000万円を仮に10年やったとしたら、4億の単独の市費を出していくという現実があるわけですし、最初は県に要望していくということが第1の段階になりますが、「地域移行やめます」となると大変なので、財源的な支援要望は絶対にやっていく。一番いいのは、この会議で皆さん方から意見をもらい、しっかり国、県等に要望していきまわすというのが、モデルとしては先進的なものとなります。確たることは言えませんが、そういう要望活動もしなければならぬと危機感をもっていることは事実です。

■会長

先日の国の会議において、誠実に取り組む自治体には全体的に補助しなくてはならないと発言がありました。事務局が申したように、先進的なモデルというか、そういったかたちで走っておりますので、そこをしっかりと要望して行って、実現していかなければならないと考えます。

しかし、それが危ういから、1人1人の参加費をあげるということはできないと思います。ここで皆さんに確認していただきたいのは、提案がありました個人の会費について、月額1,000円から2,000円ということはよろしいでしょうか。個人会費の額についてはお約束どおり低廉におさめるとしていくというところでお願いします。

■委員

どこから、どのタイミングでということは、まだ全く分からない。だから今から、あつちから引っ張る、こつちから引っ張るなどして、貴重な財源を集めていきたいということですかね。

■事務局

我々からすると、国の政策課題である少子化対策として、教育と部活動の問題をセットでやった結果、こういう経費がかかるということが分かったわけですから、今おっしゃられたとおり、教育の補助金だけじゃなくて、総務省の少子化対策の部分とか、様々な部門を組み合わせ、色んなことをやった結果、こういう制度を作らなければならないと言わせないといけないと思いますので、しっかり要望活動をしていきたいと思っております。

■会長

教育委員会、市長部局でこの案件にあたりと判断した理由が、まさに本件がただの教育ではなく、まちづくりの一環だという流れになっています。

個人会費については、1,000円から2,000円の範囲内ということについては賛同を得た

ということでもよろしくお願ひしたいと思ひます。

⇒全員賛成

それともう1つ、就学援助受給世帯、生活困窮にあたる家庭については、会費の減免措置を行うことについてはいかがでしょうか。

⇒全員賛成

よろしいですね。これにつきましても対応を進めていきたいと思ひます。

その他ですが、委員の皆様、何かありましたらお願ひします。

■事務局

私から2点報告があります。Nクラ通信を10月に発行し、各小中学校世帯に配布をさせていただきます。活動日時決定など、今決まっていることをお知らせしています。今日、チーム種目の変更案を提示しましたので、それについても周知しなければならないと考えています。

もう1点、国の会議で発表した資料ですが文化庁のホームページでも公開されています。長門市が取り組んでいる流れ、課題、先ほど申した支援要望の内容が載っています。今回、事例発表した自治体は長門市と香川県の東かがわ市でしたが、全国にこれらの内容が発信されたところです。

また、今後は各種目関係者とさらに話をつめていき、年内にチームなどが決定すれば、1月あたりから、2月には入学説明会もありますので、そこで周知を図りたいと思ひます。

チームなどの決定については次の協議会でお諮りできればと思ひます。

■会長

それでは以上で本日の予定をされました議題は終了しました。では事務局にお返ししたいと思ひます。

■事務局

委員の皆様、長時間に渡りご協議いただきありがとうございました。次回でございます第10回協議会は、12月23日月曜日に開催予定でございます。それではこれで第9回長門市部活動改革推進協議会を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。